　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　2020.11.28（土）

**川崎支部便り（定期便）（2020年12月　第34号）**

**（オープンで各自が主役：川崎支部）**川崎支部支部長　山岸　一雄

（執筆者　河合・山岸）

　川崎支部の皆さん、お元気でしょうか。

　先月の川崎支部便りはお楽しみ頂けたでしょうか。

人生を豊かに（雑学のすすめ）

「**90歳で恕を知る**」

江戸時代初期の老中に松平信綱という人物がいました。「チエ伊豆」と呼ばれ、頭の回転が速く、それもウイットとユーモアに富んだ対応をしていました。ある時、江戸で火事が有り、川越（埼玉県）城主の信綱は領地で大火の経験が有ったので、すぐ対策本部を設置しました。それも江戸城内ではなく現場にです。大名が続々と詰め掛けたので、信綱は非常時なので先着順に席に座らせました。

酒井という大実力者がやってきました。席次にうるさく、どこでも一番上席に座らないと承知しないのです。しかしこの時、空いていたのは入口近くの末席だけでした。　　　　　酒井は怒って帰ろうとしていた時、信綱は末席に座ることを求め、笑いながらこう言いました。「たとえ末席であろうと、私たちは酒井様がお座りになる席を、その場での最上席と考えております。」酒井もごねるのは大人げないと苦笑しながら、末席に座りました。不便な時代だったので、知恵を絞ったのでしょう。相手をうまく立てるのも、必要ではないでしょうか。

川 崎 点 描 ： 川崎支部活動拠点

**（日本の一年間の最後の月、12月の話題のワードは？）①**

毎年12月に入ると、今年もいよいよ残り1か月か、無事に今年も年越しし、来年も元気でいられる様に、残り1か月を頑張ろうと皆様は思いませんでしょうか。私は、毎年強く思います。と同時に、いよいよ慌ただしい「師走」に入るとの思いと、頭に浮かぶワードは「クリスマス」「忠臣蔵」「ボーナス」そして「年賀状」です。皆様もそれぞれ思い思いのワードを持っていることでしょう。最初は「師走」についてご紹介しましょう。「忠臣蔵」は12月増刊号でご説明しますので、少しお待ち下さい。

【師走】（12月の別称）

＊「師走」とは、「師馳（しは）す」とも言い、誰もが年の瀬を控えて何かと気ぜわしく慌ただしくなる時期となり、年末は「師」が忙しく走り回るから「師走」という説が有力の様です。「師」とは誰なのか。「僧侶が仏事の為に走り回る」「御師（おし、おんい）」（特定の寺社に所属して、その寺社への参拝者の参拝・宿泊のお世話をする人）が一年で一番忙しい時期」等、様々な諸説が有ります。

＊平安時代（794年～1185年）の末期に成立した古辞書、色葉字類抄（いろはじるいしょう）（橘忠兼編の三巻本、他の編も有り）の説明によると、民間語源（日常に使う語や慣用句は、習慣として長い間使われた言葉）として、現代の「師走」が当てられたと考えられている様です。

＊また、別説では都市が果（は）てる（終わる）との意味の「年果（は）つ」が「しはす」に変化した説もある様です。四季（春夏秋冬）の果てる月を意味します。「四極（「しはつ」）、また一年の最後にな署得る意味の「為果（しは）つ」等の説もある様です。

＊更に師走の別名・異称として「晩冬（ばんとう）」（冬の終わりの月）、「三冬月（みふゆずき）」（冬の三番目の月）、「梅初月（うめはつずき）」（梅が咲き始める月）、「春待月（はるまちずき）」（旧暦で12月は冬の最後の月で、春と待つ月）「歳曲月（としはずき）」（一年の最後の年の終わり）、「苦寒（くかん）」（寒さが厳しい様子、寒さに苦しむ）等です。

＊今まで「師走」という言葉は当たり前に使っていましたが、いろいろと多くの言葉からの集約された中からの代表の言葉であり、大変奥の深い「師走」の意味を知ることが出来て驚きました。

＊（おまけ１）12月の呼称：師走（しわす）、極月（ごくげつ、ごくづき）、窮月（きゅうげつ）、限りの月（かぎりのつき）、除月（じょげつ）、梅初月（うめはつづき）、春待月（はるまちづき）

＋（おまけ２）借金をしている人達は、借金取りに合わない様に「師走」大晦日の絵御師中を逃げ回り、除夜の鐘が鳴り終えて年を越す迄は家には帰れませんでした。また、「師走女房に難（なん）つけるな」と言われ、師走は忙しいので、女房達も身なりに気を配る暇が無いので、そのことに文句をつけるな、の意味です。

【日本のクリスマスの歴史】

＊皆様もキリスト強を日本に伝えたフランシスコ・ザビエルをご存じと思います。1506年（室町時代）にスペインに生まれ、後にイエズス会を創設し、1549年（天文18年）8月15日（室町時代・戦国時代）にキリスト教を日本に伝える為に来日し、薩摩国鹿児島に上陸しました。しかし日本は1551年迄の2年2か月の短い滞在でした。

＊サンフランシスコ・ザビエルは1549年8月15日、聖母被昇天（せいぼひしょうてん）の祝いの日に、現在の鹿児島市祇園之洲町に来着しました。イエス・キリストを生んだ母であるマリア様は、イエスを深い愛を持って育てましたが、イエスが33歳の時、イエスを快く思わない人の手にかかり、磔刑に処されました。マリア様の生涯は清く、正しく神様の信頼にかなった生涯だったと思います。

＊カトリック教会では、マリア様を「聖母マリア」と呼び、マリアがこの世の命を終えた時、神様が間違いなく天国へお召しになったことを信じ、「神様がマリアを天に上げられた」と宣言しました。これが聖母被昇天で、この出来事を祈念する祝日が8月15日なのです。私は戦後二年間、川崎市多摩区登戸の多摩区役所の近くのキリスト教の幼稚園にお世話になりました。当時のキリスト教はよく理解出来ないまま、卒園しました。フランシスコ・ザビエルは薩摩藩主島津貴久（たかひさ）に謁見し、選挙活動をした様です。

＊いよいよ日本最初のクリスマスの話題です。フランシスコ・ザビエルは山口県（周防国）の大内氏31代当主、大内義隆の許しを受けて選挙活動をしていましたが、1552年（天文21年）12月にフランシスコ・ザビエルの後任宣教師コスメ・デ・トーレス（山口で布教中）が司祭館で信徒に12月24日のミサ（カトリック教会での儀式）を行ったことが、「日本で初めて祝われたクリスマス」とされています。また、当時のローマでは、太陽神を崇拝する異教が大きな力を持ち、12月25日が太陽神を祭る祝祭日としていました。そこで、初代キリスト教の指導者たちが、異教徒との対立や摩擦を生むことなく異教徒にキリスト教を広める為に、12月25日をクリスマスとされた様です。

＊1560年頃（戦国時代川中島の戦いの第4次の最大の激戦前年頃）京都にキリシタン100人程が集まり、盛大な降誕祭（成人や偉人な等の誕生祝の祝典）を行ったとの記録があるそうです。1566年（永禄11年・織田信長が足利義昭を奉じ入京した年）にイエズス会ルイス・フロイトによって「織田信長と松永久秀がクリスマスに一時休戦した」との記録が残っているそうで、信者がいる各地でクリスマスが行われていたのでしょう。現代の様なプレゼント交換とか、食事会とかクリスマスツリーの飾り等は無く、雨とかお菓子程度と思います。1612年の江戸時代初期に禁教令（キリスト教禁止令）を発し、その後一旦はクリスマスの姿を消しました。各地の隠れキリシタンの人々は、外部からは分らない様にお祈りや会合をしていたのでしょう。六文銭をある形に並べると、マリア様に似ているそうです。

＊その後、明治6年（1873年）禁止教令が解かれ、クリスマスも復活しました。1904年（明治37年）に、銀座の「明治屋」が商業用ディスプレイとして初めてクリスマスツリーを店頭に飾り、大きな話題呼んだことは広く知られています。1910年（明治43年）には、「不二家」がクリスマスツリーのデコレーションケーキを発売し、1919年（大正8年）に「帝国ホテル」が一般の客向けのクリスマスパーティを開催し、その後も次々とデパートやホテルでクリスマスの装飾や販売が日本中に始まりました。昭和になってからも、銀座、渋谷や浅草の喫茶店やレストランがクリスマスの合わせたメニューを取り入れ始めました。

＊第二次世界大戦（1939年～1945年、昭和14年～昭和20年の6年間）が始まり、一時下火になりましたが、戦後再び活気を取り戻して現在に至っています。日本での「クリスマス」の歴史がこの様に長いことは、まさに驚きです。

（出典：Yahoo　Japan）

（おまけ１）**クリスマスツリーの飾りの意味**

1. ツリー頂部の星（トップスター）：キリストが生まれた時、強く輝いた星。
2. 丸い飾りのボール：アダムとイブのリンゴで、豊かな実りや生きる喜び。
3. キャンドル：ロウソクの炎は、世界をまばゆく照らす光。
4. 柊（ひいらぎ）：葉のとげとげは、キリストが被った茨の冠。葉のとげは魔よけの意味もある。
5. キャンディ：杖の形をしたキャンディで、牛飼いが使う杖。聖書ではヒツジは人で、羊飼いはキリストとなる。
6. ベル：キリストの誕生を知らせる喜びの鐘を鳴らすベル。
7. クリスマスリース：終わりなき永遠の神への愛。

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　（出典：Yahoo Japan）

支部の活動

　①2020.11.14（土）：第3回ミステリーツアー（運気がかなり上がるパワースポット）

・用賀の玉川大師の本堂の地下約5ｍには、約100ｍに及ぶ地下道が有り、約300体の仏像と天井に鳳凰図が有り、四国八十八ヵ所霊場巡りと西国三十三観音霊場巡りと同じご利益があるそうです。（インド伝来の長寿の鐘、厄除けの大日如来、空海像等）（済）

②2020.11.29（日）：関東甲信越ブロック会議（ZOOM）（山岸・加々見）

③2020.12.19（土）：第1回講演会（染野和夫代表（奥沢地誌保存会）―経営学部OB）演題：地域の歴史、再発見！（幻の鉄道路線「新奥沢線」等）14時から

・染野代表はフェイスシールド着用

・電気通信の在校生、一般の方からの申し込み有り（メールにて）（大学内のWEBサイトから）

・第6回幹事会（講演会開始前）12:45～

　④2021.01.16（土）：第6回幹事会（第3回ZOOM会議にて　19時から）

　⑤2021.02.27（土）：第2回講演会予定（コンサルタント小林正徳氏―機械科OB）

（前文科省技官、前東芝（火力発電所33年間）、前ヤマトプロテック役員）

　＋第7回幹事会（講演会開始前ー来季方針案）12:45～

ご存じですか？

**玄米は白米より体にいいか？**

玄米を精白したのが白米です。精白で取り除かれるのが糠（ぬか）です（糠には胚芽も

含まれます。）。その点で玄米は白米よりも優れています。小麦等の麦類では、精白しない

「全粒穀物」を多く食べる人ほど脂肪率が下がるというデータが有り、全粒穀物には大き

な健康効果が認められています。

玄米は「ヒ素」を白米の約2倍程度含み、ビタミンB1は白米の約5倍、鉄分は約3倍、

　マグネシウムは約5倍、蛋白質は約1.1倍含みます。土や地下水、海水等に天然に存在するヒ素は、水田で育つ米や、ひじき等の海藻にも必然的に含まれています。日本人は平均的に、体重1Kg当り毎日0.34マイクログラムの無機ヒ素を摂取しています。障害の発がんリスクは「2000人に1人程度」に相当します。

　なぜ米に無機ヒ素が多いのでしょうか。小麦や大豆と比較して、米（玄米や白米）は無機ヒ素を10～20倍程度多く含みます。米は水田で栽培される為、水を張ることで土に含まれるヒ素が吸収し易くなります。

ひじきは大量の水（お湯）で乾燥から戻せば、最大で9割ほどの無機ヒ素を減らせます。食品安全委員会は「バランスの良い食生活を送れば健康への問題はない」と評価しています。　（**解答**）玄米にはヒ素のリスクが有るが、健康効果が上回る様です。

皆様のご意見・ご感想をお待ちしています。（連絡先：[k\_yamagishi@6kou.co.jp](mailto:k_yamagishi@6kou.co.jp) 山岸宛（窓口））